

令和3年度第1回移動教育委員会 懇談会発言要旨  
(菊川市立横地小学校)

開催日時：令和3年6月21日（月）10：05～11：45

場所：菊川市立横地小学校

参加者：菊川市立横地小学校職員、菊川市教育委員会、静岡県教育委員

### 1 学校概要説明及び取組

- ・全校児童110人、常勤職員11人。開校148年目。
- ・外国籍児童は16人、全体の約15%を占め、ポルトガル語が飛び交う国際色豊かな学校である。
- ・令和2年度「プログラミング教育実践校」の指定を受け、全学年でプログラミング教育を実践している。
- ・ICTを活用した授業改善として、実物投影機、プロジェクター、スクリーンを各教室に完備し日常的に使用するだけでなく、令和3年4月より、一人一台端末が整備され、児童自身の積極的なICTの活用を進めている。
- ・地域住民が本校教育に寄せる期待と関心は高く、学校の諸活動に対して大変好意的かつ協力的である。

[学校教育目標] なりたい自分に向かって、努力を重ねる子

[重点目標] あいさついっぱい、対話でいっぱい

### 2 授業見学等（全学年）

- ・iPad（1人1台端末）を活用した新たな学び
- ・ICT等の技術革新を活用した探求的な学び

### 3 懇談会

[ICTの活用について]

県教育委員

iPadの習熟度について、児童間の差をどのように埋めているのか。

横地小

キーボード打ちについては今の6年生は4年生から練習し、習熟度は個々の能力に応じているが、平均で1分間に30字程度は打てる。習熟度が高い児童になると70字くらいは打てる。今年度は2年生から実施している。

家に持ち帰り練習する児童はいるが、興味がない児童は特に練習をしていないのが現状である。今後、底上げを図りたい。

#### 県教育委員

教え合い学習について取組はあるか。

#### 横地小

基本的に授業ではランダムに4人班を構成している。リーダーとなる児童が1人、リーダーについていく児童が2人、仲間から学ぼうとする児童が1人といった行動パターンを取ることが多く、協働による学習活動の中で学び合い、教え合いが生まれている。

#### 県教育委員

i Padに限らず、ICT機器を使用すると効率化を図ることができるが、効率化以外のメリットはどのようなものがあるか。

#### 横地小

学びの積み上げの見える化がメリットである。子供たちの考えたこと、話し合ったことが記録として残り、子供たち自身で学びを積み上げていくことができる。

また、Zoomを使用して、離れていても情報の共有や共同編集が可能になったこともメリットと感じている。

#### 県教育委員

本当に優れた道具・機器は、その利用の過程で、人間の思考そのものをより高次の思考に変えるレベルまできている。ぜひ、効率化だけでなく、児童の思考が変わる水準での利用を考えてほしい。

#### 県教育委員会事務局

i Padを利用した家庭学習の方法とi Pad導入時の教員の研修について取組はあるか。

#### 横地小

家庭学習でのi Padの利用については、例えば、家にある自分の宝物等の写真撮影、指定した動画視聴などの反転学習に利用している。児童が動画を視聴したかどうかは、コメント等で把握している。

i Pad導入時の教員研修については、信州大学の助教授指導の下、グーグルスライドなど様々な機能を体験し、普段の教職員間の連絡ツールとして利用する過程で、i Padが業務に定着してきた。「何事もまずはやってみる」の精神で、教員間で操作方法等の情報共有を図っていきたい。

### 県教育委員会事務局

児童の授業に向かう姿勢、学級としての姿勢は ICT 機器導入前後と比べていかがか。また、授業方法による、学校間の格差はあるか。

### 横地小

授業に向かう姿勢、学級としての姿勢については、児童がそれぞれの裁量で楽しく学ぶことで、積極性が向上している。

### 菊川市教育委員会

学校間の格差については、差が出ないように各学校の ICT 推進委員が情報共有の会議を開いており、中学校区でコーディネーターが情報交換や研修を行っている。また、クラウド上で研修・情報共有を行い、各学校での授業方法・授業改善に生かしている。

[外国籍児童生徒の対応について]

### 県教育委員

外国籍の児童は何人いるか。また、問題なく学校生活を送っているか。

### 横地小

16 人在籍している。児童によって日本語の運用能力に差はあるが、編入前に NPO 法人「虹の架け橋」による外国籍児童への日本語や算数などの学習支援や、学校では県の日本語指導非常勤職員による指導を受け、不自由なく学校生活を送っている。

[要望等]

各学校に ICT 推進支援員を配置して欲しい。

- ・授業の指導に役立てるため（ICT 機器の操作方法の向上 など）
- ・初期設定（アプリの導入や、パスワード・メールアドレスの管理・設定 など）の負担削減を図るため